

水辺・まち・人の可能性を育てるエンジンとしての事業活動

3 やってみる

- 河川や公園、β本町橋をフィールドに、多様な主体のやってみたい事や、チャレンジを応援。
- 多様な主体をコーディネートする事で、多様な主体によるプロジェクトを実現。

主体・連携先		内容
学校	大阪キャリアー調理製菓専門学校	専門学生のお店をやると言う実践の場として、キッチン、1Fを開放し、1デイカフェを10月と12月に実施。
	関西大学社会学部劉研究室	東横堀川PRプロジェクトとして、学生から見た東横堀川の魅力を取材、編集しPR動画を作成。
	大阪ECO動物海洋専門学校	SUPを通じて体験した東横堀川に関する環境についての動画を制作。
生産者	やさいバスプロジェクト	大阪府とやさいバス株が取り組む、大阪産野菜の集出荷システムの停留所として参画。
地域	お掃除プロジェクト	東横堀川緑道の公園愛護会である東横堀川水辺再生協議会と連携し、毎週日曜と毎月14日に清掃活動を実施。花の植え替えなど一緒に取り組む。
	Bタウンエディターズ	地域の子供達、保護者とともに、子どもたちが主役のプロジェクトをスタート。子供達がまちの人にインタビューに行き魅力を伝える活動を展開予定。



子どもたちがまちの魅力発掘取材を企画



大阪府下の農家を回ってからβ本町橋に運搬するやさいバス

4 伝える

- ①～③やβ本町橋の取り組みを、情報発信や展示、視察受入などを通して伝え、東横堀川から世界に、水辺・まち・人の可能性を広げる。

	連携先	開催日	内容
レクチャー・登壇	中央区水辺の魅力発見ツアー(中央区)	9/25	水都大阪を水辺から楽しむ中央区のクルーズ&トークイベントのガイドとトークイベント登壇。中央区民が参加。
	うつぼ公園みらい会議(うつぼ町内会)	11/4	うつぼ公園の利活用を考える地元メンバーの勉強会で話題提供。
	サステナブルツアー(JTB)	11/6、11/27、12/19	教育ツアーのモニターツアーでガイドを務める。関西圏の高校やファミリーが参加。
	大阪の川・水辺は今(大阪市)	1/20	環境局による生物多様性セミナーで話題提供。
	アシタノミズベ会議	2/10	全国の水辺ネットワークミズベリングのイベントに話題提供で登壇。
	ハイパー縁側@天満橋(京阪シティモール)	2/25	天満橋界隈のキーパーソンのネットワーク化を目指したオンラインイベントに登壇。
	豊中市まちづくりセミナー(豊中市)	3/17	まちづくり人材育成を目指したセミナーに登壇。
視察受入	大学	10/18	近畿大学布施ゼミ
		10/18	近畿大学高岡ゼミ
		12/2	龍谷大学阿部ゼミ
		1/24	淡路景観学校
	自治体関連	9/3	奈良県
		10/18	名古屋市
	議会関連	8/18	大阪市議会議員
		12/23	大阪府議会議員
	観光庁モニターツアー	11/22、12/1、12/2、1/5	水辺ラボ:レクチャー 日本シティサップ協会:サップ体験

I. 事業の実施状況 9. 広報活動

水辺・まち・人の魅力を伝える広報活動

・ Webサイト・Instagram・Facebookを運用、オリジナルブック発行も行うなど、多様な属性に向けて多様なメディアを活用して情報を発信中。

Instagram : フォロワー 1,585人
Facebook : フォロワー 505人
チェックイン 496人

メディア掲載

24件掲載 (テレビ7件、新聞5件、雑誌5件、WEB記事4件、フリーペーパー2件、広報誌1件)

日付	メディア	内容・タイトル	
2021/7/15	テレビ	朝日放送	キャスト
2021/7/20	雑誌	関西ウォーカー	8月号夏NEWS特集
2021/7/26	テレビ	J:COM	水の京都・大阪に新たなスポットが誕生！β本町橋【大阪つながるNews】
2021/7/30	フリーペーパー	サンケイリビング	
2021/8/16	雑誌	関西ウォーカー	関西秋ウォーカー2021 秋遊び特集
2021/8/26	新聞	産経新聞	水上のにぎわい 新感覚スポット
2021/8/27	新聞	日経新聞	水辺で飲食 にぎわいの場
2021/8/28	テレビ	読売テレビ	
	WEB記事	Lmaga.jp	大阪・本町に新施設が誕生「水辺のにぎわい拠点に」Yahoo!ニュース
2021/8/29	テレビ	関西テレビ	
	新聞	大阪日日新聞	水辺に交流の懸け橋「β本町橋」オープン
2021/8/31	新聞	船場経済新聞	堺筋本町・東横堀川にレジャー施設「β本町橋」新たな交流生む起点に
	WEB記事	ソトノバ	水辺を気軽に集まれる“空き地”に！「β本町橋」に集合！
2021/9/17	WEB記事	読売新聞オンライン	「水の都」感じる交流拠点 中央区・東横堀川沿いに市民ら
2021/9/18	テレビ	読売テレビ	a-yan
2021/9/25	新聞	読売新聞	夕刊2社面
2021/10/13	テレビ	eo光	ナジャ・グランディーバのチマタのハテナ
2021/10/13	雑誌	関西ウォーカー	関西ウォーカー冬号／ココナWalker・ココナWalker WEB
2021/11/11	雑誌	Meets Reagional	通巻400号記念号 WE♡心斎橋
2021/12/6	テレビ	関西テレビ	報道ランナー(やさいバス)
2021/12/7	雑誌	プレシャス1月号	
2022/2/1	WEB記事	中之島スタイル・ドットコム	【中之島散策～中之島を訪ねて】大阪の街中に、こんな「非日常の世界」があるなんて！日本シティサップ協会代表 奥谷 崇さん
2022/3(予定)	フリーペーパー	大阪観光局	大阪観光局フリーペーパー
2022/3(予定)	広報誌	豊中市	まちづくり手帖



朝日放送 キャスト



Lmaga.jp



Meets Reagional



読売テレビ



関西テレビ

■ 次年度の方針 ・クラウドファンディングを活用した取り組みを展開して広く発信する。

■次年度スケジュール

事業	備考	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.水辺・まち・人をつなぐキオスク	①キオスク運営:通年	←————→											
	②OutdoorDinnig等の屋外を活かした食イベント:4月~10月	←-----→											
2.やりたいを実現するレンタルスペース	通年	←————→											
3.暮らしをアップデートするイチバ事業	①野菜販売:通年	←————→											
	②Bイチ:毎週日曜日(月1回拡大版実施)	←-----→											
4.水辺の未来を拓く、舟運・水辺アクティビティ事業	①保管係留:通年	←————→											
	②人力船事業	←————→											
	③舟運事業	←————→											
	④水上活用実験(随時連携)	←-----→											
		←————→ 東横堀川水門工事による閉鎖											
5. 駐車場事業	通年	←————→											
6. 維持管理事業	通年	←————→											
7. 地域連携事業	①地域と連携した清掃活動:毎週日曜、毎月14日	←-----→											
	②地域連携イベント	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">←→ eよこ造遥</div> <div style="text-align: center;">←→ 夏の水上運動会</div> <div style="text-align: center;">←→ 船場博覧会</div> <div style="text-align: center;">←→ 春の川びらき</div> </div>											
8. 水辺・まち・人の可能性を育てる水辺ラボ事業	通年(随時開催・随時連携)	←-----→											
9. 広報	HP・SNS・プレスリリース等:通年	←————→											
	クラウドファンディングによる広報・ファンづくり・資金調達	←→ クラウドファンディング											

Ⅱ. まとめ 1. 全体の利用状況

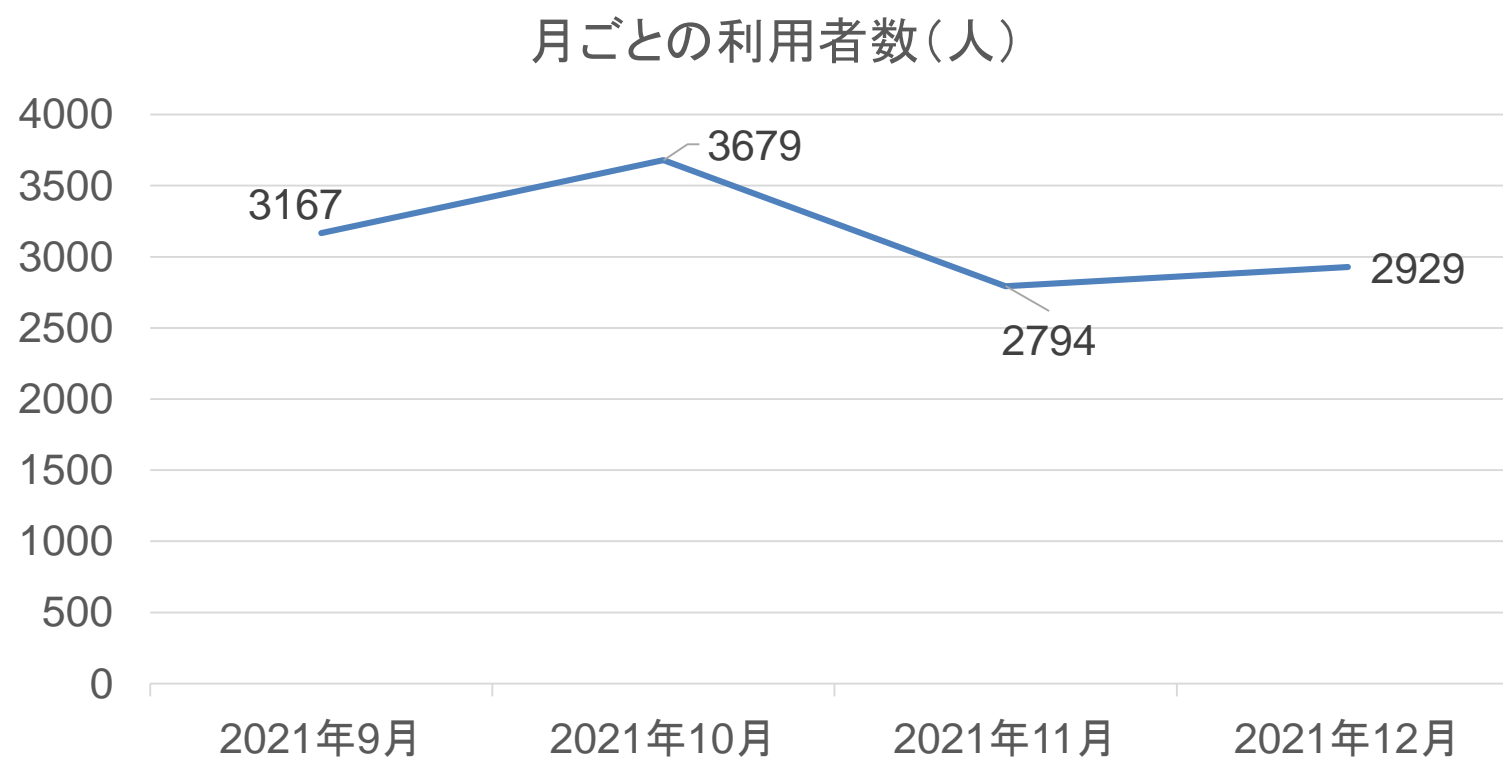
- ・ 9月～12月の施設利用者数及び公園利用者数（推計）を合わせた利用状況は、4ヶ月間で12,569人の利用。
- ・ 季節の良い10月が最も利用が多くなっている。

2021年		9月	10月	11月	12月	合計
施設	来館者	2,106	2,654	1,814	1,972	8,546
	レンタルルーム利用	52	136	155	140	483
	SUP	400	181	184	186	951
	クルーズ	9	88	41	11	149
公園	公園利用者	600	620	600	620	2,440
月別合計		3,167	3,679	2,794	2,929	12,569

※来館者は、キオスクのレジ通過人数×2で算出

※レンタルルーム利用は、ラボ1予約×10名、ルーム1予約×5名、ポートルーム1予約×12名として算出

※公園利用は、東横堀川緑道の利用を一日あたり20名とした推計値



①安全・環境

- ・公園・河川含めて無事故で運営。船舶の航行についてはヒヤットとする瞬間もなかった。
- ・地域・船会社・市民からのクレームはなく、良好な環境の維持を実現している。
- ・イベント時に地域の方々に自転車で来ていただくことが多く、駐輪スペース不足が課題。

②賑わい

- ・公園の一部として誰でもゆっくりできる状況を作り、利用人数は目標を達成している。
- ・大学・専門学校の授業、企業の社会実験、市や区の公的事業の受け入れなどを行い、多様な主体に活動の場を提供している。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、定員を少なくする、感染対策徹底の呼びかけ等を行いながら運営。今後も引き続き配慮に努める。

③地域コミュニティ

- ・オープンな定期清掃や日用品の販売などによって、近隣の方々のコミュニケーションや暮らしの場として活用いただいている。
- ・地域のお母さんたちや子どもたちの活動場所として活用いただいている。
- ・コロナ禍の影響で進んでいない地域の企業との連携が今後の課題。

④事業性

- ・レンタルスペースやクルーズ利用など、コロナ禍の影響で事業活動としては厳しい面があり、目標達成に至っていない。
- ・支出の一つの柱である占用料の金額がいまだに確定せず、事業計画ブラッシュアップの材料が揃わない。
- ・事業計画どおりに使えないという屋外活用の事業リスクをどう解消していくかが課題。

